

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金
(地方創生推進タイプ)に係る効果検証

【目的】 地方版総合戦略(まち・ひと・しごと創生総合戦略)に位置づけられた、地方公共団体の自主的・主体的な取組で先導的な事業を複数年度(概ね5か年度以内)にわたり安定的・継続的に支援する交付金

【交付率】 2分の1以内

【対象事業分野】

しごとの創生、地方への人の流れ、働き方改革、まちづくり等に関するソフトを中心とした事業が対象

【令和6年度実績】

(単位:円)

県市町連携事業	No.	事業名	事業費	交付金	採択年度
	1	地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト	14,465,000	7,232,500	R3
	2	「若者に選ばれる」畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト	2,520,000	1,260,000	R4
	3	ながさきとの関わり創出プロジェクト	5,450,322	2,725,161	R2
	4	まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト	4,288,000	2,144,000	R3
		合計	26,723,322	13,361,661	

市単独事業	No.	事業名	事業費	交付金	採択年度
	5	自然を生かした新たな賑わい創出事業	66,986,000	33,493,000	R6
		合計	66,986,000	33,493,000	

※ デジタル実装タイプについては、これまでどおり「まち・ひと・しごと総合戦略進捗状況報告」の中で検証いただきます。

■市内部評価の基準

1 〈事業効果〉

地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	KPIが目標値に達しなかったものがあるものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組として前進・改善したとは言い難いような場合

2-① 〈今後の方針：地方創生関係交付金事業計画期間が継続するもの〉

事業の継続	計画どおりに事業を継続する
事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加変更発展させる
事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)
事業の終了	当初の予定どおり事業を終了する(または、した)

2-② 〈今後の方針：地方創生関係交付金事業計画期間が終了したもの〉

事業内容を変更せずに継続する	事業内容を変更せずに継続する(地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む)
事業を拡大して継続する	事業を拡大して継続する(地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む)
事業の一部を継続する	事業の一部を継続する(地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む)
事業を終了する	事業を終了する

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

No	交付金対象事業名称	事業目的
1	地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト（先駆型） 【県市町連携事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・今後見込まれる良質な雇用の場を支える人材の確保 ・県外からの人材を呼び込むための支援体制の充実
総合戦略の位置づけ		事業概要
基本目標3 住んでみたい、訪れてみたいまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による魅力ある企業情報の発信と人材確保 ・移住希望者等を囲い込むための人口戦略の強化
事業開始	事業終期	
令和3年度	令和7年度	

実施事業名	交付金対象事業費(円)	交付金(円)	実施内容
移住・定住促進事業	9,946,000	4,973,000	長崎県内移住に関心のある方を支援する「ながさき移住サポートセンター」への負担金 本市移住希望者へ寄り添い型支援を行う「移住コーディネーター」の配置など
中心市街地複合ビル維持管理事業	2,051,000	1,025,500	中心市街地複合ビルに、移住を希望する方への支援を目的とした「暮らしコンシェルジュ」の配置
待機児童解消緊急保育士確保事業	302,000	151,000	保育士確保対策における大村市内保育園等見学バスツアーの実施
公立保育所通常保育事業	888,000	444,000	市内私立保育園等の保育士負担軽減を目的として、先進的に公立園において保育支援システムを導入したことによるシステム維持管理
認定こども園運営事業	1,278,000	639,000	
合計(円)	14,465,000	7,232,500	

重要業績評価指標（KPI）※県下市町合算	単位	事業開始前	KPI	R6年度増加分
県外から本県へのU I ターン者数	人	1,479	目標値	300
			実績値	▲77
第1産業新規就業者数（農林水産業）	人	742	目標値	851
			実績値	747
「ながさき移住倶楽部」会員登録者数	人	2,393	目標値	1,800
			実績値	2,412

大村市総合戦略 基本目標3 KPI3.4	単位	事業開始前	KPI	R6年度実績
移住・定住相談件数	件	63	目標値	120
			実績値	120
移住件数(大村市及びながさき移住サポートセンターを介した移住件数)	件	34	目標値	36
			実績値	69

事業効果	地方創生に非常に効果があった	移住コーディネーターの寄り添い型支援や、市内外の移住相談会の開催、移住定住PR動画の作成など、様々な取組を行った結果、目標値を達成した。
今後の方針	事業の継続	引き続き、既存のコンテンツを活用した事業を充実させ、移住を検討している人や、更には関係人口に繋がる可能性のある人達にも届く施策にも取り組む予定である。
外部検討委員からの評価	市内部評価のとおり	

事業概要【地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県ほか21自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,033,925千円 (699,903千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎に創出される良質な雇用情報が幅広く伝わり県外からの人材の呼び込みによる企業の人材確保、人口の抑制につながる。 ・移住支援のデジタル化など検討の熟度等に応じたサポートを行うことにより、移住相談の間口が広がり、移住の裾野拡大につながる。 ・農山漁村集落の魅力を発信するとともに、ながさきSociety5.0の推進により、県外から多様な人材を呼び込み、地域活動の担い手不足の解消や農業・水産業の活性化、住民が主体となった活気あふれる地域づくりにつながる。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○官民連携による魅力ある企業情報の発信と人材確保 126,204千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ながさき移住サポートセンター等による就職支援の強化 ・誘致企業や地場企業の人材定着の支援等 ○移住希望者等を囲い込むための入口戦略の強化 153,324千円 <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援のデジタル化及び相談受付体制の強化 ・首都圏イベント、webプロモーション等の効果的な情報発信 ・地域の特徴を活かしたワーケーション誘致の広域連携の推進 ○都市部の若者等の受入促進による農山漁村集落の維持・活性化 347,925千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手となる人材育成や定住促進 ・地域運営組織の設立支援 ・農山漁村の魅力発信やUIターン促進 <div style="text-align: right;"> <p>○就農希望者や集落の維持・活性化につながる半農半Xの暮らしで定住を希望する方への就農及び移住促進 72,450千円</p> <p>・農業施設、農業用機械等の整備補助</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>ながさき移住ナビ おかえり長崎 ようこそ長崎</p> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①県外から本県へのUIターン者数 (+1,721人) ②第1次産業新規就業者数 (農林水産業) (+4,215人) ③「ながさき移住倶楽部」会員登録者数 (+7,200人) ④持続可能な地域づくりに取り組む地域(団体) (+162団体) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/</p>

※長崎県、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、西海市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町の広域連携事業

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

No	交付金対象事業名称	事業目的
2	「若者に選ばれる」畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト（横展開型） 【県市町連携事業】	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者をはじめとした担い手の確保や定着支援 消費者ニーズに対応した品質向上 農家の経営管理能力の向上
総合戦略の位置づけ		事業概要
基本目標2 安心して働けるまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> 肉用牛経営の規模拡大、生産性向上支援 酪農経営の規模拡大、生産性向上支援
事業開始	事業終期	
令和4年度	令和8年度	

実施事業名	交付金対象事業費(円)	交付金(円)	実施内容
にこにこ畜産経営事業	2,520,000	1,260,000	市内の畜産農家で構成する大村市畜産部会に対し、優良素畜の導入や防疫対策等にかかる費用の補助を行った
合計(円)	2,520,000	1,260,000	

重要業績評価指標（KPI）※県下市町合算	単位	事業開始前	KPI	R6年度増加分
新規就農者数（畜産部門）	人	36	目標値	50
			実績値	36
農業所得1,000万円畜産経営体数	人	214	目標値	40
			実績値	10

大村市総合戦略 基本目標2②	単位	事業開始前	KPI	R6年度実績
農林水産業の新規就業者数を、各年度16人増加	人	16	目標値	16
			実績値	12

事業効果	地方創生に相当程度効果があった	肉用牛及び酪農経営の規模拡大や生産性向上支援することで、安心・安全で優良な大村産畜産物の生産を推進し、観光関連事業と連携したイベントの開催等により、本市の魅力発信及び販売促進に繋げることができた。
今後の方針	事業の継続	海外情勢の急激な変化による、飼料価格をはじめとした畜産資材価格の高騰など非常に厳しい状況の中、離農者を出すことなく、本市の畜産業の維持ができたことから、今後も他の関連事業と連携し、事業を継続することで、大村産畜産物のブランド力の向上と更なる生産性の向上に繋げる。
外部検討委員からの評価	市内部評価のとおり	

事業概要【「若者に選ばれる」畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト】

推進当初

<p>申請者</p>	<p>長崎県ほか5自治体※</p>	<p>初回採択回</p>	<p>令和4年度第1回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R4-R8年度</p>	<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)</p>	<p>898,158千円 (253,123千円)</p>
<p>事業タイプ・類型</p>	<p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>	<p>事業分野</p>	<p>農林水産分野</p>
<p>目的(効果)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者をはじめとした担い手の確保や定着支援 ・新たな技術を取り入れたデジタル技術（ICT・スマート畜産）の推進 ・消費者ニーズに対応した品質向上（家畜の育種改良・能力の高い家畜への転換等） ・農家の経営管理能力の向上 ・輸出による販路拡大と県内の新たな観光資源（新幹線、IR）を活用した流通販売対策の強化 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○人材の呼び込み・デジタル化支援による担い手確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の呼び込み（移住政策との連携）（事業費18,228千円） ・次代を支える担い手の確保・育成対策（事業費6,341千円） ・労力支援・経営外部化推進（事業費5,025千円） <p>○マーケットニーズに対応した畜産物生産対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケットニーズに対応した品質向上対策（事業費133,339千円） ・農家の生産技術・経営管理能力の高位平準化支援（事業費1,100千円） <p>○流通チャネルの多元化による販売体制強化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎和牛の輸出拡大等による販路拡大（事業費8,000千円） ・好機（新幹線・IR）を捉えた新たな需要創出の支援（事業費12,000千円） 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①新規就農者数(畜産部門) (+240人)</p> <p>②農業所得1,000万円畜産経営体数 (+187人)</p> <p>③長崎和牛輸出額 (+221百万円)</p>		

3. 「若者に選ばれる」畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト【R6:横展開タイプ】
 【共同申請自治体:5市(県内全市町)】 R6事業費:254,403千円(見込)

A: 将来像 魅力的な畜産産地、地域に若者を留める、呼び込み、呼び戻す好循環を実現

- 経済的負担が大きい畜産業への就業に対し、U・Iターン若者が参入しやすい環境をつくり、地域に人材を呼び込む
- デジタル化（ICT・スマート畜産）により、技術が未熟な新規就農者も、しっかりと所得を確保
- 畜産業のワークスタイル改革（労力支援・経営外部化）で、高齢化・後継者不足による人手不足を解消
- 新たな技術(ゲノム育種、ICT・スマート畜産等)によるマーケットインに対応した県産畜産物の生産拡大
- 新規輸出への輸出拡大や新たなマーケット（IR（統合型リゾート）、九州新幹線西九州ルート開通等）を捉えた販路拡大を行い所得を拡大

成果

- ・長崎和牛知名度向上
県外H25: 27%→H30: 33.7%
- ・肉用牛生産額
H26: 20,200百万円→H30: 25,900百万円
- ・高産部門の産出額全国3位の伸び率(12.7%)達成
H27: 495億円→R元: 558億円
- ・肉用牛分娩頭数の増大(日本一)、肉用牛出荷頭数・肉用牛出荷頭数、生乳生産量の増加

課題

- 人口減少のため長崎和牛の生産拡大が必要
- 和牛だけでなく、他畜種(鶏、豚)も併せて生産拡大し畜産の基盤強化が必要
- 高齢化・後継者不足により担い手確保が、規模拡大するも労力不足の懸念
- 畜産新規就農では、初期投資が大きく無収入期間が長い
- 畜産経営は急務を要し、技術が未熟な新規就農者は所得確保が困難
- 消費者ニーズの多様化
- 輸出や流入人口の増加を見据えた高品質な畜産物の供給が必要
- 生産性向上しているものも地域・経営間でバラツキがある
- マーケットの縮小
- コロナ前による価格の下落や人口減少の影響による需要の減少

事業概要

- 人材の呼び込み・デジタル化支援で担い手確保
 - 就農時の負担軽減対策の実施(家賃導入支援・福祉支援等)
 - デジタル技術を活用したスマート畜産等の取組推進
 - 肉用な就業定着に向けた研修・職場環境支援
 - 労力不足に対応した労力支援・経営外部化の推進
- マーケットニーズに対応した畜産物生産
 - マーケットニーズに対応した品質向上対策(優良家畜導入等)
 - 生産技術・経営管理能力の高位平準化支援
- 流通チャネルの多元化による販売体制強化
 - 海外輸出拡大、ECサイト活用による販路体制の整備加速
 - 好機(新幹線・IR開業)を捉えた新たな需要創出

KPI 新規就農者数 毎年45人 | 所得1,000万円畜産経営体数 100戸増/3年 | 長崎和牛の輸出 年間2億円

※長崎県、佐世保市、大村市、五島市、雲仙市、南島原市の広域連携事業

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

No	交付金対象事業名称	事業目的
3	ながさきとの関わり創出プロジェクト (横展開型) 【県市町連携事業】	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化や将来的な長崎県への移住に向けた裾野の拡大 特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大
総合戦略の位置づけ		事業概要
基本目標2 安心して働けるまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> 本市における新たな働き方の創出
事業開始	事業終期	
令和2年度	令和6年度	

実施事業名	交付金対象事業費(円)	交付金(円)	実施内容
産業支援センター運営事業	1,143,377	2,725,161	関係人口の増加や商店街の賑わい創出のため、中心市街地にインキュベーション施設としてコワーキングスペースを設置し新規創業者や個人事業者等ワークスペースの提供を行った
創業・交流支援事業	1,347,445		インキュベーション施設に新規創業者や個人事業者等新たな関係人口を創出するための創業塾及び関連セミナーを開催
企業就職支援事業	2,959,500		市内学生のキャリア教育はもとより、本市出身学生のUターン促進、関係人口創出拡大を図るための企業就職支援サイト制作
合計(円)	5,450,322	2,725,161	


重要業績評価指標 (KPI) ※県下市町合算	単位	事業開始前	KPI	R6年度増加分
新たに長崎県内での地域活動等に関わりを持つこととなった地域外の人	人	0	目標値	1,000
			実績値	57,985
継続的に長崎県内の地域活動等への人材募集情報を受け取る人	人	0	目標値	12,000
			実績値	6,635
マッチングにより県内でワーケーションを実施することとなった企業数	企業	0	目標値	3
			実績値	10

大村市総合戦略 基本目標2①②	単位	事業開始前	KPI	R6年度実績
大村市産業支援センター又は創業塾を介した創業件数を、2025年度までに累計105件	件	74	目標値	100
			実績値	129
新工業団地への就業者数を、2025年度までに1,000人	人	0	目標値	1,000
			実績値	52
農林水産業の新規就業者数を、各年度16人増加	人	16	目標値	16
			実績値	12

事業効果	地方創生に相当程度効果があった	インキュベーション施設については、利用対象者の見直しや周知の徹底等課題が残るが、創業塾をはじめ関連セミナーの実施、関係機関との連携により創業件数の増加に寄与した。
今後の方針	事業の一部を継続する	引き続き、既存の施策や企業情報サイトを活用し、関係人口及び雇用の創出拡大に取り組む予定である。
外部検討委員からの評価	市内部評価のとおり	

事業概要【ながさきとの関わり創出プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県ほか9自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,267,086千円 (252,613千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	本県では、全国に先んじて人口減少、少子高齢化が進んでいる中、人口減少対策を本県の最重要課題と位置付けて、移住、若者の県内定着などの対策に取り組んでおり、地域の活性化や将来的な長崎県への移住に向けた裾野の拡大のため、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>(1) 長崎のファンづくりと、長崎県とつながるきっかけづくり、交流機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外パブリシティ業務委託費 16,297千円 ・離島留学実施校への宿泊体験経費 7,807千円 <p>(2) 本県での新たな働き方の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション推進のための調査研究委託 8,099千円 <p>(3) 地域活性化や地域課題解決等の仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域文化芸術活動 4,300千円 ・地域猫活動セミナー・アドバイザー経費 583千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①新たに長崎県内での地域活動等に関わりを持つこととなった地域外の人の数 (+7,000人)</p> <p>②継続的に長崎県内の地域活動等への人材募集情報を受け取る人々の数 (+48,000人)</p> <p>③マッチングにより県内でワーケーションを実施することとなった企業数 (+14企業)</p>	関連URL	https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/

※長崎県、長崎市、大村市、五島市、小値賀町、雲仙市、対馬市、新上五島町、佐世保市、平戸市の広域連携事業

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

No	交付金対象事業名称	事業目的・概要
4	まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト (先駆型) 【県市町連携事業】	・スポーツ・エンタメ等の新たなハイブリッド型ツーリズムや夜型観光等の推進、及び新幹線開業を契機とした機運の熟成、新たなコ・コンテンツの造成による、誘客・観光消費額の拡大
総合戦略の位置づけ		事業概要
基本目標3 住んでみたい、訪れてみたいまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> ・夜型観光推進としてのスポーツ大会や合宿、講演会などコンベンション誘致事業に対する支援 ・大型プロジェクトを契機とした観光客を惹きつけるコンテンツの創出
事業開始	事業終期	
令和3年度	令和7年度	

実施事業名	交付金対象事業費(円)	交付金(円)	実施内容
コンベンション誘致事業補助金	1,412,000	706,000	夜型観光推進による宿泊客増加に繋げるためのパンフレット製作や、スポーツ大会や合宿、講演会などのコンベンション誘致事業に対するコンベンション協会への支援
着地型推進事業費補助金	1,211,000	605,500	観光まちづくりや新幹線効果を高めるためのコ・コンテンツの造成に対するコンベンション協会への支援
歴史観光立市推進事業	165,000	82,500	
新幹線関連事業	1,500,000	750,000	長崎県と佐賀県の新幹線沿線5市が連携した誘客促進展開の負担金
合計(円)	4,288,000	2,144,000	

重要業績評価指標 (KPI) ※県下市町合算	単位	事業開始前	KPI	R6年度増加分
観光消費額総額	億円	3,778.0	目標値	48.2
			実績値	算定中
観光消費単価 (宿泊客)	円	31,921	目標値	200
			実績値	算定中

大村市総合戦略 基本目標3	単位	事業開始前	KPI	R6年度実績
観光客延数を、2025年までに年間260万人	万人	197	目標値	249.4
			実績値	191.2

事業効果	地方創生に効果があった	大村市総合戦略のKPIの目標値には達しなかったが、令和7年4月の自然共生型アウトドアパークのオープンに向け、施設のPRおよび市内全域の周遊に繋げる取組を行った。これにより市内観光客増、滞在時間の延長、観光消費額増が見込まれる。
今後の方針	事業の継続	本市の最大の強みである交通の利便性や既存の観光資源を活かし、地域企業と協働し、観光資源のブラッシュアップや情報発信などに取り組み、地域経済の活性化を図る。
外部検討委員からの評価	市内部評価のとおり	

事業概要【まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト】

推進当初

申請者	長崎県ほか23自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	4,985,890千円 (1,074,171千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなハイブリッド型ツーリズムや夜型観光等の官民連携による観光消費額の拡大 ・スポーツ、エンターテインメント、イベント等、コンテンツ重視の個人旅行客の誘客拡大 ・新幹線開業に伴うまちづくり、ハイクラスホテルの整備を契機とした誘客・観光消費額の拡大 ・長崎県の特徴ある自然を体験するアウトドアツーリズムによる周遊観光の推進 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R6年度事業費	<p>○スポーツ・エンターテインメント等の新たなハイブリッド型ツーリズム、夜型観光の推進 336,899千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツ・武道を活用したハイブリッド型ツーリズム・夜型観光の推進 ・環境変化や市場動向を踏まえたインバウンド観光の推進 ・夜間消費拡大に向けた夜景観光推進や新たなナイトタイムエコノミーコンテンツの造成 ・夜型観光推進としてのスポーツ大会や合宿、講演会などのコンベンション誘致事業に対する支援 <p>○新幹線開業を契機とした機運の醸成、県内各地域における新たなコト・コンテンツの造成 600,220千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型プロジェクトを契機とした観光客を惹きつけるコンテンツの創出 ・新幹線開業効果を高めるため、広域周遊促進のための二次交通の強化等の推進 ・大型プロジェクト効果を最大限に取り込むための受入態勢強化と新たな雇用創出に対応する人材確保 ・「まち」の変化を契機とした新たな交流人口拡大の推進 ・「まち」の変化を生かした地域の魅力の効果的な発信と誘客の多角化 <p>○長崎・佐賀の特徴ある自然を生かしたアウトドアツーリズムの推進 137,052千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアスポーツ・アクティビティに親しめる環境づくりの推進 ・長崎のスポーツ資源を活用したスポーツ合宿及び大会の推進 		
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI増 加分の累計」の目標値	<p>①観光消費額(総額) (+358.64億円)</p> <p>②観光客(宿泊)のリピーター率 (+7.4%)</p> <p>③観光消費単価(宿泊客) (+1,479円)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sousei/</p>

※長崎県、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、五島市、西海市、雲仙市、長与町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、杵岐市、南島原市、佐賀県、唐津市、伊万里市、武雄市、嬉野市、有田町の広域連携事業

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

No	交付金対象事業名称	事業目的・概要
5	自然を生かした新たな賑わい創出事業（横展開型） 【市単独事業】	<ul style="list-style-type: none"> 市内を訪れ、周遊することで滞在時間の延長を図る 魅力向上、誘客プロモーションによる観光客数及び観光消費額の増を図る 観光関連事業者や地元農林漁業事業者等の所得向上を図る 自然に親しむことによる環境保全意識の向上を図る 観光地としての大村市全体のイメージアップ、地元の食を楽しむ場、環境づくりを図る
	総合戦略の位置づけ	
基本目標3 住んでみたい、訪れてみたいまちづくり		
事業開始	事業終期	事業概要
令和6年度	令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> 自然を生かした子どもから大人まであそぶことができるアクティビティ施設の整備 アクティビティ施設開業の機運熟成のため大村の自然をテーマにした講演会やワークショップ等の開催

実施事業名	交付金対象事業費(円)	交付金(円)	実施内容
観光基盤の整備(ソフト事業)	6,800,000	3,400,000	観光客周遊や移動支援のための地域公共交通確保や、アクティビティ施設のスタッフ研修など
豊かな自然を生かしたフェスや観光イベント等の開催	6,374,000	3,187,000	大村の魅力的な自然、農業、食に触れることのできるスポーツイベント・子供向けワークショップ開催など
観光基盤の整備(ハード事業)	53,812,000	26,906,000	自然共生型アウトドア施設整備工事費等
合計(円)	66,986,000	33,493,000	

重要業績評価指標（KPI）※大村市単独	単位	事業開始前	KPI	R6年度実績
地域における観光消費額	億円	79	目標値	83
			実績値	78
観光客延べ数	千人	1,985	目標値	2,091
			実績値	1,912
延べ宿泊客数	千人	433	目標値	445
			実績値	434
アウトドア・アクティビティ施設年間利用者	人	0	目標値	0
			実績値	0


※R7.4開業

大村市総合戦略 基本目標3 KPI 1.2	単位	事業開始前	KPI	R6年度実績
市内宿泊施設の延べ宿泊者数	人	433,337	目標値	439,000
			実績値	445,422
外国人観光客宿泊者数	人	2,649	目標値	4,540
			実績値	1,369

事業効果	地方創生に相当程度効果があった	KPIの目標値に達しなかったものがあるものの、令和7年4月の自然共生型アウトドアパークのオープンに向け、施設のPRおよび市内全域の周遊に繋げる取組を行った。これにより市内観光客増、滞在時間の延長、観光消費額増が見込まれる。
今後の方針	事業の継続	本市の最大の強みである交通の利便性や既存の観光資源を十分に生かすため、観光資源のブラッシュアップや情報発信などに取り組み、野岳湖公園エリアを滞在型観光の核として整備することで、市内全域の周遊に繋げ、地域経済の活性化を図る。
外部検討委員からの評価	市内部評価のとおり	

事業概要【自然を生かした新たな賑わい創出事業】

推進当初

申請者	長崎県大村市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	362,412千円 (66,987千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を訪れ、周遊することで滞在時間の延長を図る ・魅力向上、誘客プロモーションによる観光客数及び観光消費額の増を図る ・観光関連事業者や地元農林漁業事業者等の所得向上を図る ・自然に親しむことによる環境保全意識の向上を図る ・観光地としての大村市全体のイメージアップ、地元の食を楽しむ場、環境づくりを図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然を生かした子どもから大人まで遊ぶことができるアクティビティ施設の整備 ・コース建設費等 53,812千円 ・スタッフ研修費等 1,100千円 ○観光客の周遊や地域の消費促進および移動支援、相乗りタクシーの活用 ・タクシー借上料 5,700千円 ○アクティビティ施設開業の機運醸成のため大村の自然をテーマにした講演会やワークショップ、イベントの開催 ・イベント等開催経費 6,375千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 (+10.7億円) ②観光客数 (+317千人) ③延べ宿泊者数 (+33千人) ④アウトドア・アクティビティ施設年間利用者 (+9,557人) 		関連URL 大村市公式ホームページ https://www.city.omura.nagasaki.jp/kouryuu/shise/shokai/shisaku/kekaku/matihitoshigoto.html